



三豊工だより

2007年(平成19年)
9月3日(月)

ものづくり日本大賞
受賞記念特別号

香川県立三豊工業高等学校

〒769-1689 観音寺市大野原町大野原5537番地

TEL (0875)52-3011 FAX(0875)52-3012

ホームページ <http://www.kagawa-edu.jp/mitokh01/> E-mail mitokh01@kagawa-edu.jp
連絡・お知らせ用 <http://www.kagawa-edu.jp/mitokh02/> (携帯電話からご覧になれます)

快挙！三豊工 V

～第2回ものづくり日本大賞 文部科学大臣賞受賞～

初代ものづくり日本一高校に



文部科学省にて(東京) 左から銭谷事務次官、織田校長
安藤参事官

受賞メダル



選考委員の皆様、毛利 衛さんをはじめ各界
を代表する豪華な顔ぶれ

8月31日(金)、文部科学省において、ものづくり日本大賞の授賞式が行われ、本校は文部科学大臣賞(青少年支援部門)を受賞しました。

今回より新設されたこの賞は、ものづくり教育に取り組む全国の高等学校を対象として、一年おきに審査・選考が行われ、ものづくりの人材育成に大きく貢献し、特に優秀な成績を収めた学校に授与される、とても栄えある賞です。

本校は、近年の、メカトロ部を中心とする生徒のものづくり活動と実績、課題研究等におけるものづくり教育の取組と実績、ものづくり取組の地域発信等の姿勢が高く評価され、全国で第一号の「ものづくり日本一」表彰高校となりました。

創立45周年の節目の年に新たな礎 50周年に向かって力強く発進!

大賞受賞 歴史に残る快挙 三豊工の「誇り」 校長 織田 博

一ものづくりをとおした人づくり、地域から期待される学校づくりに大きな励み一

8月31日に東京の文部科学省で、栄えある「ものづくり日本大賞 文部科学大臣賞」を学校の代表として初等中等教育局長より直にいただきました。本校のものづくり人材育成に教職員・生徒が一丸となって取り組んだ実績が全国一位と認められ、この賞が授与されたことに大変大きな喜びを感じています。

特に本校では、この数年間各学科の複数の教員が指導グループを結成して、メカトロ部におけるロボットの製作実習、各学科での課題研究などで、全校的にものづくり教育が行われた結果、各種ロボット競技大会で全国優勝13回、全国発明工夫展での全国最優秀の受賞など大きな成果を上げています。

このような取り組みが認められ、全国で唯一本校が受賞したことは、本校の歴史に残る



文部科学省にて (右) 金森初等中等教育局長

本当に素晴らしいことであり、三豊工の「誇り」です。この受賞の喜びを全員で分かち合うとともに、ロボット技術の伝統を受け継ぎ、さらに伸ばして欲しいと思います。今後とも、ものづくりをとおして人づくりを積極的に進め、地域から期待される学校づくりに教職員全員で取り組んでまいりたいと考えています。



受賞案件の紹介



《学校ものづくり人材育成に向けた特色ある取り組み》

機械加工、電子制御、情報技術等各分野の専門的知識・技術を有する複数の教員が指導グループを構成し、相互の協力・連携を通じて、技術力アップや指導力向上を継続的に図っている。この指導グループが核となり、メカトロ部においては、創造力・技術力、豊かな人間性をはぐくむ教育が行われているほか、各学科の製作実習においても創造性を身に付ける製作活動に重点が置かれた指導が実施されている。

機械科 課題研究発表会



電気科 持久歩看板製作



電子科 パターゲーム製作



作品製作過程で困難が生じた場合、企業、関連機関の協力を得るなど、**地域産業界等との連携**を積極的に図っている。

社会人招聘授業



インターンシップ



生徒企業訪問



地域の**ものづくりセンター**を目指して、**地域の子ども達への見学、体験、ものづくり指導**を行うとともに、**指導者に対して積極的に研修の場を提供**するなどの取り組みを実施している。

中学生マイコン製作講習会



ロボット製作教員研修会



地元小学校児童ロボット体験



開発した技術、製作のノウハウ、生徒の指導方法等をホームページで公開している。

《取り組みを通して得られた具体的な成果》

平成17、18年度において、**全国レベルのロボット競技大会において、優勝4回、準優勝3回の成績**を収めている。

- ◆ 第1回ロボットアメリカンフットボール全国大会優勝
- ◆ 第13回高校生ロボット相撲全国大会ラジコン型優勝
- ◆ ジャパンマイコンカーラリー2006大会優勝
- ◆ 第18回全日本ロボット相撲全国大会ラジコン型優勝



ニッポンセブンTV取材



ロボットアメリカンフットボール大会



ジャパンマイコンカーラリー大会



平成17年度**全国発明くふう展において、恩賜記念賞を受賞。**

段差楽々スロープ内蔵台車



この台車は、段差にぶつかると台車の下についた小さな台車が傾き前輪が段差に乗り、前に押すだけで段差を越えることができる構造で、お年寄りや女性でもわずかな力で段差を越えることができます。

また、この作品は第3回技術アイデアコンテスト(全国工業高等学校長協会主催)で優秀賞も受賞しています。

恩賜記念賞授賞式



喜びのメッセージ



◎ 機械科主任 古上勝義 教諭
ものづくり教育の二本柱これからも堅持

平成13年度の高校生ものづくりコンテスト全国大会に参加して以来、旋盤加工技能士の養成、その資格を生かした作品製作を機械科の二本柱としてきました。技能士関係では、昨年、2級機械加工技能士が誕生しました。作品製作では、一昨年、全日本学生児童発明くふう展で恩賜記念賞をいただきました。今後ともこの方針を続けていきます。

◎ 電子科主任 三宅孝佳 教諭
「ものづくりが好き」人材育成に今後も邁進

工業高校の存在価値が問われる時代に、社会に役立つものづくりに取り組む先生や生徒をたくさん育てていることを認められ受賞することは大変意味がある事で、うれしく思います。「ものづくりが好きで、人のためになりたい。」という心構えを持った人が社会に育つように、さらに電子科でも協力し頑張っていきたいと思います。

◎ 電気科主任 寺嶋光雄 教諭
小さい学校でも、ぴりっと光るものを

受賞おめでとうございます。これは先人達が創意工夫をし、苦労を重ねてきた結果です。少子化の影響で学校の統廃合が進む中、小さい学校ながらぴりっと光るものがあれば良いのではと思います。中央に位置しないからこそフロンティア精神が旺盛で、自由闊達な雰囲気と大規模校にはない小回りの良さを大切にしたいと思っています。



◎ 生徒会長 金子潤哉 君
ものづくり日本一と言われ続ける学校に

今回、三豊工が、ものづくり日本大賞を受賞してとても嬉しく、また、三豊工生であることに強い誇りを感じます。これは、メカトロ部の活躍や、三豊工生一人ひとりのものづくりに対する取組が、評価されたものだと思います。これからも三豊工生全員で学校をさらに発展させ、ものづくり日本一と言われ続けるように頑張っていこうと思います。

◎ メカトロ部顧問 瀬尾文隆 教諭
感動を共にできたことを誇りに

私は平成7年よりメカトロ部の顧問としてロボット競技に携わってきました。平成12年に相撲ロボットラジコン型で準優勝を果たして以来、マイコンカーラリーやロボットアメリカンフットボールで数々の輝かしい成績を残してきました。その活躍の中で部員達と素晴らしい感動を共にできたことを誇りに思っています。これは、機械科及び電気・電子科や三豊工業全職員の温かい理解と協力があったからだ、心から感謝をいたしております。

◎ メカトロ部 部長 池田 竜 君
後輩に技術を受け継がせていきたい

先輩たちから受け継いできた賜であると同時に、熱心な先生方からのご指導があったからこそ、ものづくりのできる場が実現されたのだと思います。この伝統を後世に残していくためにも、後輩に技術を受け継がせていきたいです。これからも先生方にご指導してもらい、より一層技術の向上に努めたいです。